

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32122	子規記念博物館管理運営事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	2
32122	子規記念博物館企画展示事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	3
32122	子規記念博物館改修事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	4
32122	子規記念博物館資料購入事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	5

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566
------	----------	-----	---------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
32122							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	—	○	○	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	「ことば」文化の内外発信	根拠法令	松山市立子規記念博物館条例				
取組みの柱	子規記念博物館の活用						
目的・背景	松山市立子規記念博物館は、正岡子規の世界をとおりて、より多くの人々が松山に親しみ、松山の伝統文化や文学についての認識と理解を深め、新しい文化の創造に役立てることを目的として開設された文学系の博物館である。 適切な管理運営を行うことで、利用者に安全かつ快適に利用していただくとともに、より多くの人々に子規や文学の魅力に触れていただくことを目的としている。						
対象・内容	・子規記念博物館の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間業者の持つ知識と経験を活用して、館の活性化と利用者サービスの向上を図っている。 ・子規顕彰全国俳句大会、子規顕彰全国短歌大会等の各種大会を開催する。 ・「はがき歌」全国コンテスト、へちまコンテスト、ふるさと松山「新春子規さん俳句かるた大会」等の各種イベントを開催する。 ・各種大会やイベントなどとおして、子規の業績等を顕彰するとともに、松山の文化振興に寄与する。 ・株式会社レスパスコーポレーションへ指定管理料を支出。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	指定管理料		131,013
予算 (千円)	事業費計	174,006	159,138	168,919			友の会への事務委託料		11,148
	国費・県費	0	0	0			「まつやま子規亭」開催負担金		8,354
	市債	0	0	0					
	その他	15,493	17,506	21,147					
	一般財源	158,513	141,632	147,772					
決算 (千円)	事業費計	156,859	156,782			主な取組 内容 【R6】	・施設の維持管理 ・子規顕彰全国俳句大会 ・子規顕彰全国短歌大会 ・子規顕彰松山市小中高校生俳句大会 ・「はがき歌」全国コンテスト ・SNS等を活用した情報発信		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	13,065	13,556						
	一般財源	143,794	143,226						
	(執行率)	90%	99%						
人役	正規職員	3.0	4.0	3.0		特記事項	-		
	その他	3.0	2.0	2.0					
	合計	6.0	6.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント・講座等の 実施回数		目標	26	26	26	26	予定していた回数以上のイベント等が実施 できた。	
			実績	29	29				
	現状維持	回	達成率	112%	112%				
成果指標	入館者数		目標	120,000	120,000	120,000	120,000	11月まで改修工事中であったため、展示や 会議室の利用に一部制限があり、目標達成 には至らなかった。	
			実績	91,928	109,093				
	現状維持	人	達成率	77%	91%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	活動指標については、予定以上の活動を実施できた。今後も、指定管理者と協力し新たな自主事業を実施するなど、より多くの方が 子規や当館に興味をもっていただけるようなイベント等を開催していきたい。 成果指標については、11月まで改修工事を行っていたため、展示や会議室の利用等に制限があったものの、入館者数が前年度より も18.7%増加した。また、目標達成率も90%を超えた。							
課題	令和5年度～令和6年度の大規模改修工事で、常設展のリニューアル やトイレの洋式化など、利用者の利便性の向上を図った。魅力の増し た当館を広く周知し、より多くの方に来館いただき、館の更なる活性 化を図る必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	本事業の目的達成のためには、入館者増に 向けた取組を継続していく必要があるた め。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566
------	----------	-----	---------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館企画展示事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
32122						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	－	○
施策	選ばれる都市づくり					
主な取組	「ことば」文化の内外発信	根拠法令	松山市立子規記念博物館条例			
取組みの柱	子規記念博物館の活用					
目的・背景	子規記念博物館は、子規資料を柱に、文学や郷土に関わる資料を収集保管するとともに調査研究を行い、その成果を博物館活動として提供する施設として開館した。開館にともない、常設展の維持管理や特別展等の開催、機関誌の発行、収蔵資料の保全・管理が必要とされたため、現在の本事業に相当する業務を開始した。本事業では、正岡子規の一生を紹介する常設展を維持管理し、特別展等を企画・開催するほか、資料の調査・研究成果を機関誌「子規博だより」で発信し、子規や松山の歴史・文化の魅力を発信する。また資料修復の実施、収蔵環境の維持管理等により収蔵資料の保全を図ることを目的とする。					
対象・内容	・子規の一生を紹介する常設展の維持管理、展示替え(「子規記念博物館の名品」コーナー、特集コーナー等) ・子規や近代文学、松山の歴史文化に関連した特別企画展の開催(年1回)、及び関連テーマでの記念講演の開催 ・収蔵資料を活用した特別展の開催(年1回) ・博物館の活動や調査研究成果を発信する機関誌「子規博だより」の発行(年3回:6月、12月、3月) ・資料の修復 ・収蔵庫、書庫等の資料収蔵環境の維持管理(防虫・防カビ等) ・資料保存及び調査研究に必要な備品・図書等の購入					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	特別企画展の資料輸送等委託料		2,304
予算 (千円)	事業費計	9,930	10,060	13,778			特別企画展のディスプレイ等制作委託料		1,060
	国費・県費	0	0	0			秋季特別展の展示パネル等制作委託料		448
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	9,930	10,060	13,778					
決算 (千円)	事業費計	8,663	8,147			主な取組 内容 【R6】	・子規の批評家としての業績をテーマとした第70回特別企画展「批評家・子規—文学革新の追求—」、及び収蔵資料を活用した特別展の開催。 ・機関誌の発行や収蔵資料の修復。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	8,663	8,147						
	(執行率)	87%	81%						
人役	正規職員	2.0	3.0	3.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	特別展・特別企画展の関連イベントの実施回数		目標	11	7	11	11	予定していた特別展・特別企画展の関連イベントを全て実施することができた。	
			実績	11	7				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	特別展・特別企画展の入場者数		目標	8,000	8,000	8,000	8,000	令和5年度に引き続き回復傾向にあるが、目標を達成できなかった。	
			実績	6,449	7,060				
	現状維持	人	達成率	81%	88%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	特別展・特別企画展の入場者数の目標は達成できなかったが、コロナ禍以後目標数値に向けて順調に回復傾向にあり、かつ展示内容については新たな視点や最新の研究成果を盛り込み分かりやすい展示方法を工夫することで、来場者アンケートで好評を得ることができたため。							
課題	令和6年度に常設展2階部分を中心にリニューアルを行ったが、新設機器を適切に管理するとともに、今後も展示パネルのデザインや文字の大きさ等を継続的に見直し、来館者により分かりやすい展示を目指すことが課題である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	常設展や特別展等が来館者にとって目新しく効果的な展示となるよう、引き続き収蔵資料や展示手法の研究・検討を行うことが必要となるため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566
------	----------	-----	---------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32122							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	「ことば」文化の内外発信	根拠法令	—				
取組みの柱	子規記念博物館の活用						
目的・背景	松山市立子規記念博物館は、昭和56年の開館から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、今後も入館者に安全で快適な環境を提供し、正岡子規の研究・顕彰の拠点として活用していくため、大規模改修を実施するものである。						
対象・内容	令和5年度から令和6年度に大規模改修を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	工事請負費		937,659
予算 (千円)	事業費計	580,000	1,350,416	0			備品購入費	5,170	
	国費・県費	0		0					
	市債	522,000	1,213,400	0					
	その他	58,000	136,200	0					
	一般財源	0	816	0					
決算 (千円)	事業費計	100,415	943,526			主な取組 内容 【R6】	・主体工事 ・電気工事 ・空調工事 ・給排水工事 ・エレベーター工事		
	国費・県費	0							
	市債	90,300	847,300						
	その他	10,100	95,647						
	一般財源	15	579						
	(執行率)	17%	70%						
人役	正規職員	1.0	1.0	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	改修工事の進捗率		目標	40	100	0	0	学習施設課や工事業者等と情報共有を行い、スケジュール通り完了することができた。	
			実績	36	100				
	累計で増	%	達成率	90%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画に基づき、予定通り改修工事を完了できたため。							
課題	—					今後の 方向性	事業終期到来	左記の 理由	—

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当G	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566
------	----------	-----	---------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	子規記念博物館資料購入事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32122							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	「ことば」文化の内外発信	根拠法令	松山市立子規記念博物館条例				
取組みの柱	子規記念博物館の活用						
目的・背景	子規記念博物館では、開館に先立つ昭和52年度から松山市教育文化施設資料購入基金を用いた資料の購入を行っている。博物館の責務である関連資料の収集のため、開館後も引き続き館の活動に必要な不可欠な資料を購入する本事業が実施されている。本事業では、当館の活動に不可欠であり、広く市民の理解を得ることのできる資料等を購入し、資料の保全と次世代への継承を図るとともに、常設展や特別展・特別企画展で公開し、子規記念博物館への誘客を図ることを目的とする。						
対象・内容	正岡子規に関する資料、正岡子規に直接関係する者に関する資料、正岡子規を生み育てた文化的土壌に関する資料等を対象として、松山市の文化行政を推進する上での必要性について詳細な調査を行い、子規記念博物館での今後の調査研究・展示活動に必要な不可欠な資料を、松山市教育文化施設資料購入基金により購入する。基金による購入があった年度には、購入経費を一般会計等から基金へ振り替える。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	0	46,500	0	主な経費 (千円) 【R6 決算】				-
	国費・県費	0	0	0					-
	市債	0	0	0					-
	その他	0	0	0					-
	一般財源	0	46,500	0					-
決算 (千円)	事業費計	0	46,500		主な取組 内容 【R6】	・子規を中心とする収集対象資料の調査、 情報収集、及び購入等。			
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	0	46,500						
	(執行率)	0%	100%						
人役	正規職員	2.0	3.0	3.0	特記 事項	・令和5年度は資料収集の実績なし。			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	収集対象資料の調査		目標	1	1	1	1	収集対象となる資料の調査を実施することができた。	
			実績	1	2				
	現状維持	件	達成率	100%	200%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	正岡子規資料を中心として、当館の収集対象となる資料の調査を行い、購入することができたため。							
課題	今後も資料購入を検討すべき案件があれば、関係する要綱・要領の規定に基づき、収集対象資料の調査及び審査を適正に行う。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も博物館活動に必要な不可欠な資料を収集する活動を継続する必要があるため。